

百人一首

⑬ ~ ⑮

筑波嶺の つくばね



峰より落つる みね お みな がわ の川

恋ぞつもりて こい 淵となりぬる ふち

陽成院 ようぜい



陸奥の みちのく



しのぶもぢぢり じ 誰ゆゑに だれ え

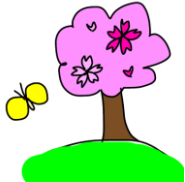
乱れそめにし みだ 我ならなくに われ

河原左大臣 かわらのさだいじん



君がため きみ

春の野に出でて はるのい 若菜摘む わかなつ



わが衣手に ころもで 雪は降りつつ ゆきふ

光孝天皇 こうこうてんのう

